

令和8年度 早稲田大学を代表校とする 「スマートエスイーIoT/AI 石川スクール」研修カリキュラムについて

県・コマツ・早稲田大学が連携し、平成30年度より、IoT/AI高度技術人材育成を実施（今年9年目、過去受講生は約1,200名）

研修の狙いを理解

各種研修で体系的に学習・課題解決を実践

ターゲット

経営者 セミナー (5月18日)

- ・県内事例
- ・DX推進に向けたマインド
- ・CDOの必要性
- ・ノー/ローコードの有効性
- ・DX計画の必要性

1日間

①DX推進計画策定支援 (8月～1月頃)

- ・外部専門家による全8回の伴走支援により、新ビジネスの検討など、競争上の優位性を確立するためのDX推進計画の策定を支援
- ※全2回のトライアル研修も別途実施

全8回

②CDO育成研修 (7月～11月頃)

- ・変化する社会・経営環境に対応するために、今後の経営にはデジタル化が必須であることを理解し、デジタル技術を活用した経営戦略を作成し、推進役となる人材（CDO:最高デジタル責任者）を育成

全9回

③技術者向け研修 (9月～11月頃)

プログラミングコース

(9月頃)

- ・Pythonと生成AIによるデータ解析プログラミング基礎
- ・生成AI基礎

2日間

IoTコース (10月頃)

- ・IoTと生成AIの活用による製造現場改善
(製造ライン異常検知、センサ、モータの振動、電流変化等)

3日間

AIコース (11月頃)

- ・AIと生成AIの活用による画期的な新製品開発
(機械学習、深層学習、Webカメラ画像認証)

3.5日間

④ノーコード/ローコード研修 (6月～12月頃)

- ・簡単にアプリを作成、無理なくDXを推進
- ※Platio:4回、kintone:4回、PowerAutomte:5回

全13回

⑤AIIエージェント実践研修 (6月～12月頃)

- ・自社課題を題材としたAIIエージェント
(業務を自動実行できるAIツール)を作成

全5回

経営層
(社長・役員・部長等)

技術者・
現場担当者等

事務・
現場担当者等